



## NPO PTPL “ともいき” 便り No.120

平成 29 年 (2017 年) 4 月 4 日発行

### ■清明 (せいめい) 4 月 4 日から 4 月 19 日までの節気

「清明」の節気。“清く明るい”と書いて「清明」。この時季になると草木の芽が成長し、さまざまな花が咲き乱れるころ。

花といえば、日本人にとってはやはり「サクラ」です。「サクラ」は日本の花。万葉の昔から人々に親しまれ、愛されてきました。

今年、東京では、3 月 21 日 (火) 気象庁が東京都千代田区の靖国神社にある桜・ソメイヨシノの標本木が開花したことを発表しました。平年より 5 日早く、昨年(2016 年)と同じ 3 月 21 日の開花。なお、沖縄を除くと全国で最も早い桜の開花宣言となりました。

いよいよ桜前線の北上です。今年の花見はどこにしようか今から楽しみにしています。

ちょっとソメイヨシノについて調べてみました。

日本中で植えられている桜の約 8 割がソメイヨシノといわれているようです。ソメイヨシノは江戸時代末期、園芸の盛んだった江戸の郊外・染井村 (現在の東京都豊島区駒込辺り) の植木屋で売り出され、明治以降になって広まりました。ソメイヨシノは、エドヒガン (江戸彼岸) とオオシマザクラ (大島桜) の交配種で、葉が出る前にピンクの花が咲き揃う特徴をエドヒガンから、大輪で花付きの良さをオオシマザクラから受け継ぎました。その植木屋は、この桜を江戸にいながら奈良吉野の桜がみられると称して「吉野桜」と名付けて売り出し、人気を博したと言われています。

さらに桜の三大桜、桜の三大名所なども調べてみました。

#### ●日本の三大桜

##### ① 山高神代桜(山梨県北杜市)

南アルプスと八ヶ岳を望む実相寺境内にそびえる根回り 18.5m もあるエ

ドヒガンの老巨木。

② 根尾谷淡墨桜（岐阜県本巣市）

宇野千代の小説「薄墨の桜」でも有名な、東西南北に約 30m も枝を張るエドヒガンの巨樹。

③ 三春の滝桜（福島県田村郡三春町）

樹齢 1000 年以上と言われるエドヒガンの変種、日本最古最大の枝垂桜。

●日本の三大桜名所

① 吉野山（奈良県吉野町）：「古今集」の昔から詩歌に詠われた日本一・日本最古の桜名所です。

② 弘前公園（青森県弘前市）：天守閣とお堀端一带に、ソメイヨシノを中心に枝垂桜や八重桜など約 50 種 2600 本の桜が咲き誇ります。

③ 高遠城址公園（長野県伊那市高遠町）：中央・南の二つのアルプスを背景に、小振りやや濃いめの可憐な花が城址を埋め尽くすように咲き誇ります。

●桜名所百選

平成 2 年（1990 年）に、財団法人「日本さくらの会」が日本を代表する特色のある優れたさくら名所 100 箇所を選定し、顕彰し、名所の保存、育成に努めています。

財団法人「日本さくらの会」：<http://www.sakuranokai.or.jp/>

花見とともにこの時季の 4 月 8 日（土）に「花まつり・灌仏会」が執り行われます。旧暦 4 月 8 日にお釈迦様の誕生を祝して寺院で行われる法会です。この日、各寺院ではお釈迦様の立像に甘茶をそそぐ儀式を行ないません。なぜ、甘茶をそそぐ習慣になったのでしょうか。それはお釈迦様が誕生したとき、八王竜王が喜びのあまり甘露の雨を降らせたという言い伝えに由来します。

「甘露」とは、中華世界で古来より伝わる「天地陰陽が調和すると天から降る」とされる甘い液体のことで、王の徳が高いと、それに応じて天から降ると言われているそうです。灌仏会に甘茶が使われるようになったのは江戸時代からだそう、それ以前は香水（こうずい）と呼ばれる水をかけていたそうです。

佐藤 誠（NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局）

## ■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和 雑感彼是

自然の神様が春のスイッチを押したのでしょうか？

春の彼岸も明け、北風が強い、真冬のような天気の日もありますが、だんだんと春本番です。

春を求め、家の近所を散歩してみました。白いモクレンはきれいに咲いています。沈丁花は花を落とし始めました。ツバキの生垣は、次々といろいろな色の花を咲かせています。ツバキはやはり赤が秀逸ですね。

菜の花も咲き、黄色の花が印象的。小さい草花も咲き始めました。河津桜は、すっかり葉桜になり、カンヒザクラも散り始めています。かわりにソメイヨシノの花芽がふっくらと大きく多くなってきました。きっと、来週には・・・。鳥の鳴き声も心なしか、大きく感じられます。

ユキヤナギが白い小さな花を枝いっぱい咲かせています。小さい小さい白い花ですが、花びらを目いっぱい開いて咲いています。

生命あるもの、全てが生きる力に満ち溢れだしました。春が来たのです。

もうすぐ、「清明」の節気です。

# ジャパネスク



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局だより

●今回の発行が「ともいき便り 120号」になります。皆様のおかげをもちまして丸5年が過ぎました。今後とも、当NPOが企画制作運営するWEBサイト、やフェイスブック同様、なにとぞ、よろしく申し上げます。

●是非、NPO PTPLが企画制作運営するサイト・FBをご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと山」：<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

●NPO PTPLは「ジャパネスク運動」推進中です。

ぜひ、「ジャパネスク」サイトのメニューのひとつの「ジャパネスク語り」

(<http://www.japanesque.tokyo/katari.html>)をお読みください。

●会員募集のご案内

NPO活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPLでは、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAXにてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

Email：[info@ptpl.or.jp](mailto:info@ptpl.or.jp)